

セキュリティログ統合管理ソリューション「SecureEagle®/SIM」の 内部統制対応機能を大幅に強化

日立電子サービス株式会社（以下「日立電サ」、本社：東京都港区、代表取締役 社長執行役員：百瀬 次生）は、SecureEagle/SIM の内部統制対応機能をさらに強化し、IT システム全般のセキュリティリスクを統合管理できるソリューションとして、4月5日から提供を開始いたします。

企業では、安全かつ健全なビジネス活動を行うべく、企業内 IT システムのセキュリティレベルの維持や、内部統制の強化のために、様々なセキュリティ対策が取られています。内部統制への対応では、一貫したセキュリティポリシーのもとで、情報漏洩を始め内外からの脅威をビジネスリスクとして捉え、企業内の情報を総合的に統制することが重要になります。

日立電サでは、これに対するソリューションとして「SecureEagle/SIM」を提供してまいりました。これは、200種類以上のログをリアルタイムに相関分析することで、セキュリティインシデントを監視し、さらに日本版 SOX 法の内部統制や業種ガイドラインの監査エビデンスとして活用できるコンプライアンスレポートの作成機能で内部統制向けセキュリティを支援するソリューションです。

今般、(株)日立製作所の「JP1」による統合システム運用管理と、SecureEagle/SIM のセキュリティ管理の連携を実現し、さらに日立ソフトウェアエンジニアリング(株)の情報漏洩防止ソリューション「秘文®」、日立電サの物理セキュリティマネジメントシステム「Webvisor®」のログを関連付けて分析することにより、情報漏洩などの内部脅威への対応を大幅に強化しました。これにより、IT システム全般のセキュリティリスクを総合的にマネジメントし、内部統制への対応をより強力にサポートします。

本ソリューションは、4月10日(火)に開催される「第8回日立セキュリティソリューション総合セミナー」に出展します。

強化ポイント

SecureEagle/SIM の強化ポイントは以下の2点です。

1. システム運用とセキュリティ運用の統合

システム全体のリソースや業務の稼働情報を集約し、障害発生時の原因特定から対処までをサポートする統合コンソール「JP1/IM*1」へ、SecureEagle/SIM の相関分析によって抽出したセキュリティインシデント情報を通知します。これにより「JP1/IM」にて、システム稼働情報とセキュリティ情報を関連付けた分析が可能となりました。

「JP1/IM」と SecureEagle/SIM との連携は、セキュリティ管理を含めたシステム運用の可視化と、情報システム部門の運用効率を高めるとともに内部統制に向けたシステム環境の整備を強力にバックアップします。

なお、SecureEagle/SIM は、2007年3月 JP1 連携認定製品「JP1 Certified」を取得しました。

お客様のメリット

- (1) SecureEagle/SIM の相関分析によって検出したセキュリティインシデント情報と、「JP1」のシステム監視情報を結びつけることで、例えばサーバダウンの原因が、ハードウェア障害なのか、或いはワーム感染等のセキュリティに起因した現象か、JP1 の統合コンソール「JP1/IM」だけで切り分けから原因調査まで可能となりました。
- (2) システム運用とセキュリティ運用を統合管理することにより、運用管理工数の低減が図れます。

2. 企業全体のセキュリティログの統合管理・分析

これまでのサーバアクセスログや認証ログに加え、「秘文 ME シリーズ*2」のクライアント操作ログと「Webvisor*3」の物理セキュリティログとの連携を新たにサポートしました。

秘文 ME シリーズとの連携では、クライアント操作ログに加え、ログイン・ログアウト等のサーバ認証ログ、ネットワークアクセスログ等、セキュリティログの統合管理と相関分析によって、企業内における重要情報の統合的な管理を実現しました。

また、Webvisor 連携においては、監視カメラ画像、入退出の記録、サーバへのログインなどを相関的に分析し、「誰がいつどこで何をしたか」という具体的な挙動や不審な動きをセキュリティインシデントとして特定することが可能となりました。また、それらのログを組合せ、共連れなどの不正入室者を監視することで、犯罪の抑止に効果を発揮します。

さらに、不審な情報持ち出しや入退室ログ情報等を、内部統制の監査エビデンスとなるコンプライアンスレポートとして提供します。

お客様のメリット

- (1) 企業全体の統合的なログの管理によって、ポリシー違反操作や外部への情報持ち出しなどの実態を正確につかむことができるため、情報漏洩などの事件を早期に検知し、未然に防止することができます。
- (2) 日常の運用においては、日立ソリューションサポートセンタによる 24 時間 365 日の遠隔監視によって運用コスト低減、高度分析が可能です。

*1 「JP1/IM」 : JP1/Integrated Management の略

*2 「秘文 ME シリーズ」 : クライアント操作の可視化によって企業のセキュリティポリシー違反を防止し、セキュリティ対策を定着させるセキュリティマネジメントシステム

*3 「Webvisor」 : 画像監視やラック監視、入退室管理などを統合しセンタ集中監視可能な柔軟かつ拡張性のある物理セキュリティマネジメントシステム

提供時期

2007年4月5日より。

提供価格

(1) J P 1 連携モデル

オンサイト型でのご提供となり、個別見積もりです。

(2) 秘文連携モデル (日立ソリューションサポートセンタによる遠隔監視型)

		サービス項目	サービス価格 (税抜き)
1	一時導入 費用	SecureEagleサービス導入費用	¥650,000～
2	月額費用	SecureEagleサービス費用 【費用算出例】 <ul style="list-style-type: none">サーバ×5台秘文AEサーバ×1台秘文MEログマネージャ×1台秘文AE/MEクライアント×10台	¥250,000/月～

※ 上記費用には秘文ライセンス費用、秘文導入費用などは含みません。

(3) Webvisor 連携モデル (日立ソリューションサポートセンタによる遠隔監視型)

		サービス項目	サービス価格 (税抜き)
1	一時導入 費用	SecureEagleサービス導入費用	¥500,000～
2	月額費用	SecureEagleサービス費用 【費用算出例】 <ul style="list-style-type: none">サーバ×5台入退室管理装置×1台	¥210,000/月～

※ 上記費用には、Webvisor 費用、Webvisor 導入費用などは含みません。

(4) 秘文、Webvisor 連携モデル (日立ソリューションサポートセンタによる遠隔監視型)

		サービス項目	サービス価格 (税抜き)
1	一時導入 費用	SecureEagleサービス導入費用	¥650,000～
2	月額費用	SecureEagleサービス費用 【費用算出例】 <ul style="list-style-type: none">サーバ×5台入退室管理装置×1台秘文AEサーバ×1台秘文MEログマネージャ×1台秘文AE/MEクライアント×10台	¥280,000/月～

※上記費用には、Webvisor 費用、秘文ライセンス費用、Webvisor・秘文導入費用などは含みません。

■日立電子サービス株式会社について

日立電子サービスは、「お客様の飛躍を支えるベスト・ソリューション・パートナーになる」を経営ビジョンに、情報システムにおける企画・調達、設計、構築、導入、運用、保守のライフサイクル全体を手掛ける「統合サポートサービス」で、ハードウェア/ソフトウェアが一体となった、より進化したトータルなソリューションを提供。全国 320 カ所のサービス拠点網と日立ソリューションサポートセンターを中心に、24 時間 365 日万全の体制で、安心と信頼の情報システムを実現します。

■報道機関問い合わせ先

日立電子サービス株式会社 社長室広報グループ【担当：矢野、城戸崎】

〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12（三田 MT ビル）

TEL：03-5441-9262（ダイヤルイン）

※秘文は日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社の登録商標です。

※SecureEagle、Webvisor は当社の登録商標です。

※本リリースに記載の会社名および製品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

以 上